UNIVERSITY OF THE RYUKYUS HOSPITAL

受講生募集

令和９年度４月開講

琉球大学病院　看護師特定行為研修



琉球大学病院（西普天間キャンパス）

出願期間　令和8年 12 月 1 日(火)～12 月 25 日(金)　**当日必着**

募集定員　裏面参照

選考方法　書類･面接による選考

（募集要項は、下記 URL または QR コードよりダウンロードください）

URL：https://x.gd/HQaZN

受講資格　通算5年以上の臨床実務経験を有する看護師　他、裏面参照

お問い合わせ

〒901-2725　沖縄県宜野湾市字喜友名 1076 番地
琉球大学病院　総合研修･教育センター(看護師特定行為研修担当)
TEL：098-894-1394　　FAX：098-894-1388
Email：kensyu@acs.u-ryukyu.ac.jp

令和９年度４月開講
琉 球 大 学 病 院 看 護 師 特 定 行 為 研 修

特徴	
	・教育経験豊富な研修指導者や教育者による充実した研修指導体制 ・おきなわクリニカルシミュレーションセンターを利用し、公平かつ一貫した高度な研修に対応が可能 ・離島、へき地、小規模施設の看護職が受講しやすいような学習環境の支援 ・臨床経験豊富な医師及び歯科医師によって作成された手順書に基づいた指導 ・キャリア形成支援センターによるサポート体制

受講者の条件	
	①日本国の看護師免許取得者であること。 ②原則として、通算5年以上の臨床実務経験を有する看護師（ただし、准看護師としての経験は除く。）。 ③本研修で開講される講義、演習、実習を本院で受講可能な者。 （ただし、現在の勤務を継続しながら受講することも可能な範囲で考慮する。） ④看護職賠償責任保険に加入していること。

受講審査料　10,000円

※1 研修内容・受講料			科目名		受講料	定員数	時間数	臨床実習	研修期間
	共通科目	必修	共通科目（全6科目）		448,150円	最大16名	252 時間	―	約5か月
	※2 区分別科目	必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		39,720円	最大16名	20 時間	10 症例	約1～7か月 ＊区分別科目ごとに、講義・演習・実習・評価の期間が異なります。
		選択	動脈血液ガス分析関連		48,890円	最大 3名	13 時間	10 症例	
			呼吸器(気道確保に係るもの)関連		45,000円	最大 3名	9 時間	5 症例	
			血糖コントロールに係る薬剤投与関連		48,000円	最大16名	16 時間	5 症例	
			呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連		151,000円	最大 3名	29 時間	20 症例	
			精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		123,000円	最大 3名	26 時間	15 症例	
			呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		45,000円	最大 3名	8 時間	5 症例	
			胸腔ドレーン管理関連		122,000円	最大 2名	13 時間	10 症例	
			腹腔ドレーン管理関連		51,000円	最大 3名	8 時間	5 症例	
			栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		97,000円	最大 3名	7 時間	5 症例	
			栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連		75,000円	最大 3名	9 時間	5 症例	
			心嚢ドレーン管理関連		47,000円	最大 3名	8 時間	5 症例	
			創傷管理関連		144,000円	最大 3名	34 時間	10 症例	
			透析管理関連		41,000円	最大 3名	11 時間	5 症例	
			循環動態に係る薬剤投与関連		117,000円	最大 3名	28 時間	25 症例	
			術後疼痛管理関連		60,000円	最大 3名	8 時間	5 症例	
	※3 領域別パッケージ研修	選択	救急領域※4	特定行為「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含みます。	375,610円	最大 3名	85 時間	50 症例	
			外科系基本領域※4		462,150円	最大 3名	105 時間	40 症例	
			在宅・慢性期領域※4		286,720円	最大 3名	70 時間	25 症例	
			周術期麻酔管理領域※4		378,610円	最大 3名	79 時間	45 症例	
			集中治療領域※5	別途「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を選択してください。	496,000円	最大 2名	76 時間	50 症例	

※1 応募状況によっては開講されない区分別科目・領域別パッケージ研修が発生する可能性があります。
※2 一度に選択できる区分別科目は必修科目を含め3区分までとします。「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、必ず履修する必要があります。
※3 領域別パッケージ研修を選択する場合、必修科目の他、選択科目から「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」のみ併願可能です。
※4 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、領域別パッケージ研修における一部免除の対象ではありません。
※5 必修科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を併せて受講する必要があります。

スケジュール案	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	共通科目（全6科目）	講義（e-ラーニング）（毎週10～15時間程度） 演習・実習・評価（毎月1～10日程度）											
	区分別科目						1～3区分を選択 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修です。						
	領域別パッケージ研修						1領域を選択 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修です。						

＊ 区分別科目ごとに、講義・演習・実習・評価の期間が異なります。
＊ 区分別科目・領域別パッケージ研修の実習は、所定の症例数に満たない場合は、実習を追加します。
＊ 令和9年度：入講式4月、共通科目合否判定9月、区分別科目合否判定令和8年2-3月、研修修了判定3月、修了式3月